

2017年度 決算説明資料

2018年5月15日
日本テレビホールディングス株式会社

本説明会及び資料の内容には、将来に対する見通しが含まれています。
しかし、実際の業績は、様々な状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。ご了承下さい。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。

2017年度の取り組み等

視聴率の状況と編成方針

2017年度決算について

決算数字 5か年の推移

2018年度の見通し

2017年度の取り組み実績

Point

1

視聴率を背景とした放送収入の確保

- ・地上波放送では、年度・年間視聴率ともに三冠王を獲得
- ・放送収入はタイムが好調で、スポット減収の影響を最小限に

Point

2

放送外事業の堅調な推移

- ・映画 「22年目の告白」「メアリと魔女の花」「鎌倉ものがたり」など
- ・イベント 「ディズニー・アート展」「里見八犬伝2017」など
- ・海外事業 中国向けドラマ販売、フォーマット販売など
- ・インターネット事業 など

Point

3

グループの取り組み

- ・Hulu システム変更のトラブルあるも期末有料会員数170万人超え

2018年度の重点施策

Point

1

開局65年・中期経営計画”Change65”最終年度

- ・良質なコンテンツ制作と放送収入の確保
- ・新規事業(投資を含む)、事業改善プログラムの推進
- ・開局65年記念事業への取り組み
- ・麹町地区「番町スタジオ」竣工
- ・海外ビジネスの推進

Point

2

ICT戦略の推進

- ・ICT戦略本部の設置(組織再編)
- ・コンテンツ価値の最大化
- ・動画配信事業のさらなる強化
広告事業(AVOD)、Hulu他課金事業(SVOD)の強化
- ・ICTを活用した新規事業の創出
- ・働き方改革に資するICT利活用の推進

2017年度の取り組み等

視聴率の状況と編成方針

2017年度決算について

決算数字 5か年の推移

2018年度の見通し

視聴率の状況

Point
1

2017年「年度」視聴率4年連続で三冠王獲得！

プライム、ゴールデンでは、2位局と2ポイント以上の差！

2017年度48回「週間三冠王」獲得。(昨年に引き続き民放歴代1位記録)

2013年12月から本年4月まで53か月連続で「月間三冠王」獲得

Point
2

各時間帯・各エリア・「個人」で高視聴率を維持

①「プラチナ」3年連続首位

②日本テレビ系列26地区中、24地区で年度三冠王を獲得

③引き続きクライアントニーズの高い視聴者層を獲得

Point
3

2018年「年間」視聴率も三冠で推移！

2018年4月30日現在

2017年「年度」視聴率

期間：2017/04/03(月)～2018/04/01(日)

(単位：%)	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位との差	HUT
全 日	8.1	7.4	6.3	2.8	5.7	+0.7	40.8
(6時～24時)	(△0.3)	(+0.1)	(+0.2)	(±0.0)	(±0.0)	(△0.4)	(△0.2)
プライム	12.0	10.0	9.8	6.2	7.7	+2.0	58.2
(19時～23時)	(+0.1)	(△0.6)	(+0.1)	(±0.0)	(△0.3)	(+0.7)	(△0.5)
ゴールデン	12.4	9.9	9.9	6.6	7.8	+2.5	60.7
(19時～22時)	(+0.2)	(△0.4)	(+0.1)	(+0.1)	(△0.2)	(+0.6)	(△0.2)
ノンプライム	7.0	6.7	5.3	1.9	5.2	+0.3	35.9
(6時～19時 23時～24時)	(△0.4)	(+0.3)	(+0.2)	(±0.0)	(+0.1)	(△0.7)	(±0.0)
プラチナ	6.5	5.4	4.5	2.6	3.8	+1.1	28.5
(23時～25時)	(△0.5)	(△1.0)	(±0.0)	(-0.1)	(△0.3)	(+0.5)	(△1.9)

- 注: 1. 表示は左からデジタルチャンネル順
 2. 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ
 3. ()内は前年との差 比較期間:2016/04/04(月)～2017/04/02(日)

2018年度編成方針

Point

世帯&コア三冠王・信頼される報道機関となる

Point
1

全日帯番組強化

「スッキリ」 2017年10月から水トアナ参加、報道強化し大幅リニューアル
⇒世帯視聴率 1部+0.5% 2部+0.4% (2017年上期下期比較)

「ヒルナンデス！」

2017年10月からニッポンの新しいライフスタイルを提案する番組にリニューアル
⇒世帯視聴率 -0.1% (2017年上期下期比較) 若年層の支持アップ

「ZIP！」 2018年4月からスタジオリニューアル、情報量と機動力をアップし番組強化

Point
2

プライムゴールデン無改編(ドラマ除く) レギュラー重視

2期連続プライム・ゴールデン帯無改編 (ドラマ除く)
番組内イノベーションを繰り返し効果的効率的にタイムテーブルの盤石化を図る

Point
3

「地上波テレビ (ネットワーク) 」の価値向上

ブランドセーフティ・データ拡充・コンテンツ強化・クリエイター育成・情報アクセシビリティ向上により
信頼される報道情報機関として、とことん**生活者の視点に立った番組編成**を目指す。

2018年度編成方針

Point

「コンテンツ多面展開」拡充と ネット配信も含めた「総合編成戦略」推進を継続

◎ 日曜ドラマを代表としたコンテンツの多面展開 継続

→地上波・配信（ADVOD・SVOD）などマルチプラットフォーム展開拡充
2018年1月期「トドメの接吻」では
ADVODでの見逃し配信に加え毎回アナザーストーリーをHulu配信
SNSを活用し若年層へのリーチを図る展開実施

◎ 「IP」を企画開発の中心に日本テレビグループのコンテンツ価値最大化

→「HIGH&LOWプロジェクト」でテレビドラマ・映画・
ライブ・イベントの多面展開で放送外収入を獲得

IP : Intellectual Property rights : 知的財産権

◎ 総合編成戦略 : BS戦略拡充

→総合編成戦略に基づき、時間帯ごとにターゲットを
見直し視聴者拡大を狙った、BS日テレの大幅改編実施。
ゴールデンプライム帯改編率60.4%
21時台+土日22時台:趣味に特化したオリジナルコンテンツ
23時台:アニメ・バラエティーなど幅広い層に訴求する編成を意識



2018年「年間」視聴率

期間:2018/01/01(月)~2018/05/06(日)

(単位: %)	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位との差	HUT
全日	8.1	7.7	6.5	2.8	5.6	+0.4	41.3
(6時-24時)	(△0.4)	(+0.2)	(+0.2)	(±0.0)	(△0.2)	(△0.6)	(+0.3)
プライム	11.8	10.7	10.1	6.2	7.6	+1.1	58.7
(19時-23時)	(△0.2)	(+0.2)	(±0.0)	(±0.0)	(△0.3)	(△0.4)	(+0.2)
ゴールデン	12.3	10.8	10.2	6.7	7.7	+1.5	61.5
(19時-22時)	(±0.0)	(+0.6)	(±0.0)	(+0.1)	(△0.3)	(△0.6)	(+0.6)
ノンプライム	7.1	6.9	5.5	1.9	5.1	+0.2	36.4
(6時-19時 23時-24時)	(△0.3)	(+0.3)	(+0.2)	(+0.1)	(△0.1)	(△0.6)	(+0.5)
プラチナ	6.4	5.4	4.6	2.5	3.7	+1.0	28.4
(23時-25時)	(△0.5)	(△0.7)	(+0.2)	(△0.1)	(△0.2)	(+0.2)	(△0.9)

- 注: 1. 表示は左からデジタルチャンネル順
 2. 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ
 3. ()内は前年との差 比較期間:2017/01/02(月)~2017/05/07(日)

2017年度の取り組み等

視聴率の状況と編成方針

2017年度決算について

決算数字 5か年の推移

2018年度の見通し

2017年度 連結決算総括

売上高は、日本テレビ放送網の放送外収入増、HJホールディングス会費収入増、前期末のACM連結子会社化等により増収

営業利益は、減価償却費、HJホールディングスのコンテンツ原価の増等により減益

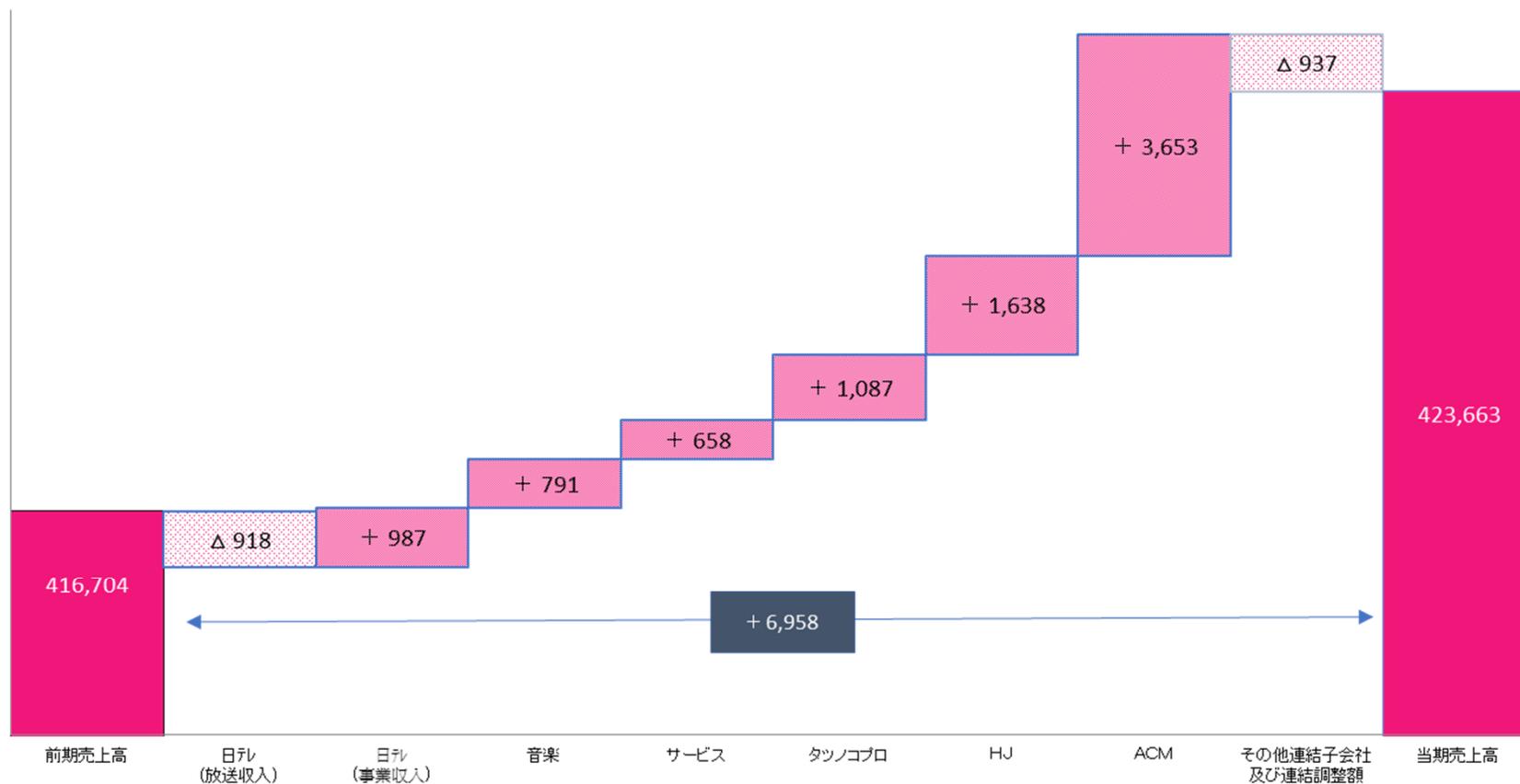
経常利益は、受取配当金、持分法利益(負ののれん)増加により増益

当期純利益は、日テレITプロデュース 減損損失計上により減益

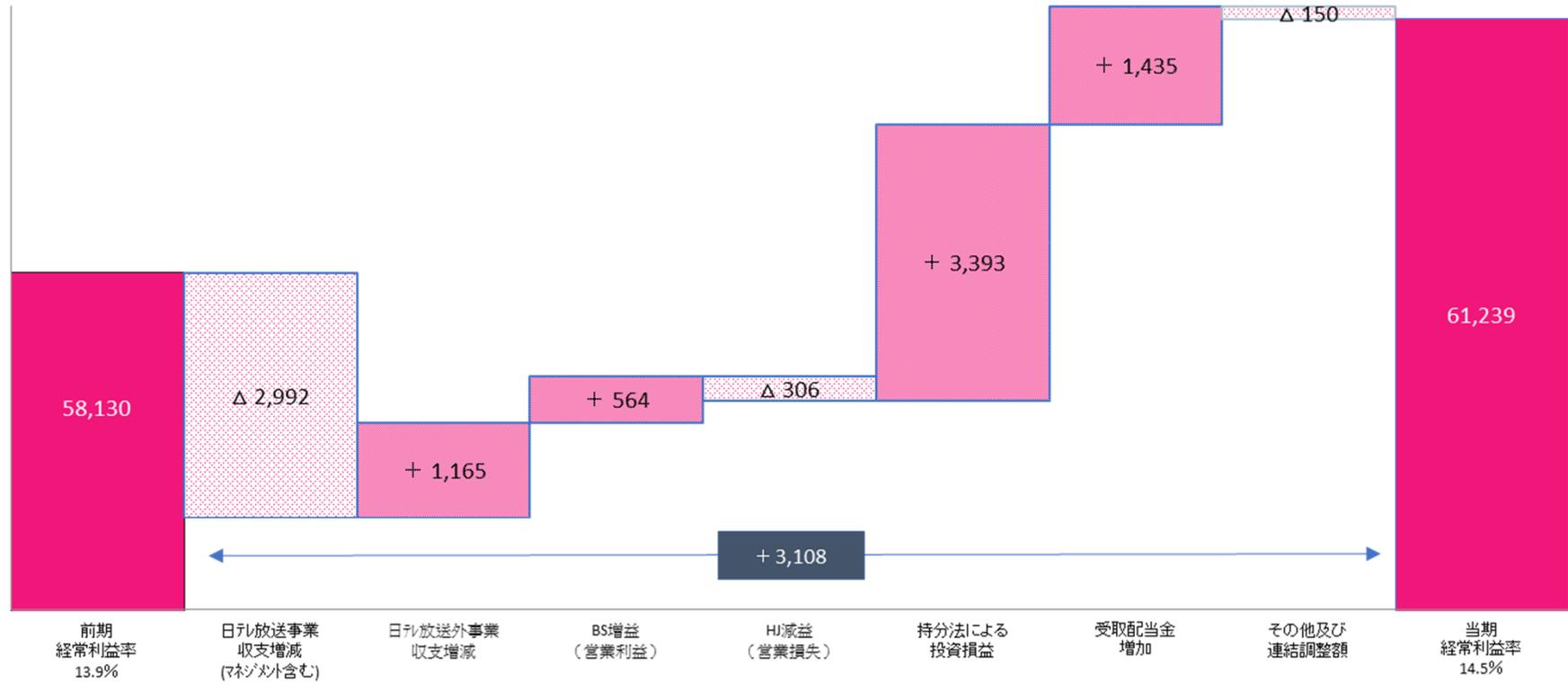
(単位:百万円)

	2016年度	2017年度	増減 (%)
売上高	416,704	423,663	1.7
営業利益	52,526	50,964	△3.0
経常利益	58,130	61,239	5.3
親会社株主に 帰属する当期純利益	40,786	37,416	△8.3

売上高の前年同期増減内容



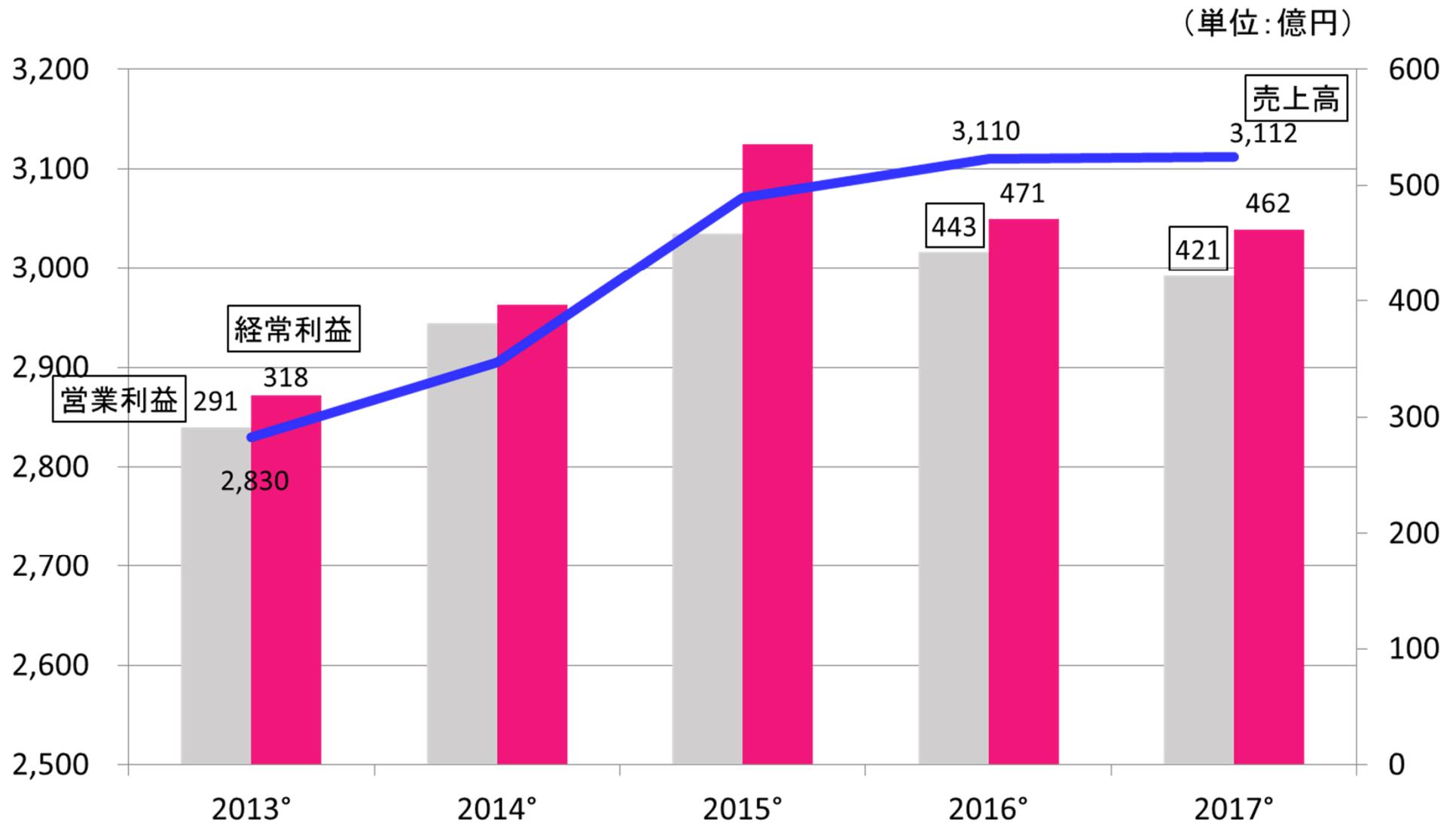
経常利益の前年同期増減内容



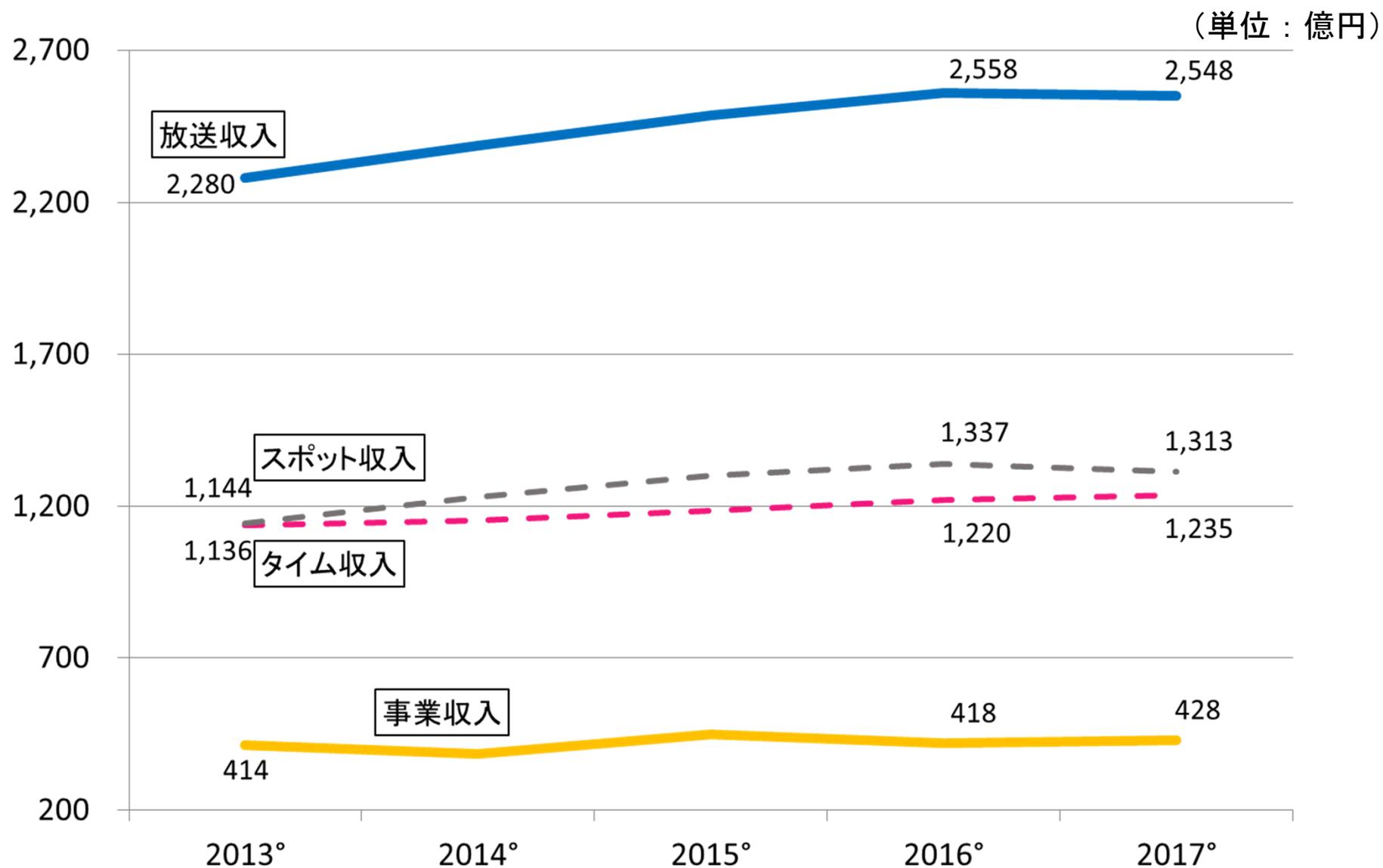
2017年度の取り組み等
視聴率の状況と編成方針
2017年度決算について
決算数字 5か年の推移
2018年度の見通し

【日本テレビ放送網】

売上高 営業利益 経常利益推移

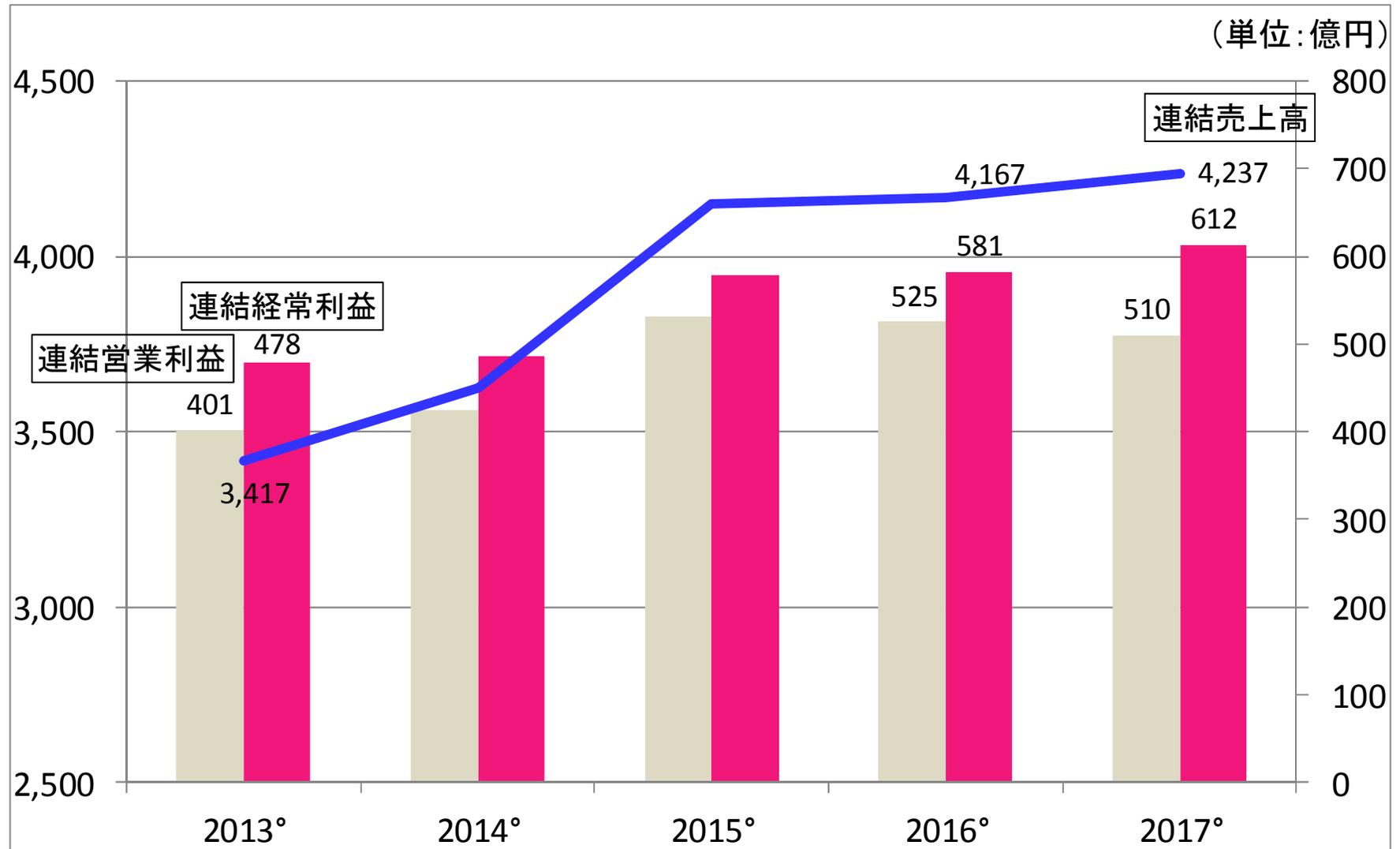


【日本テレビ放送網】 営業収入別推移

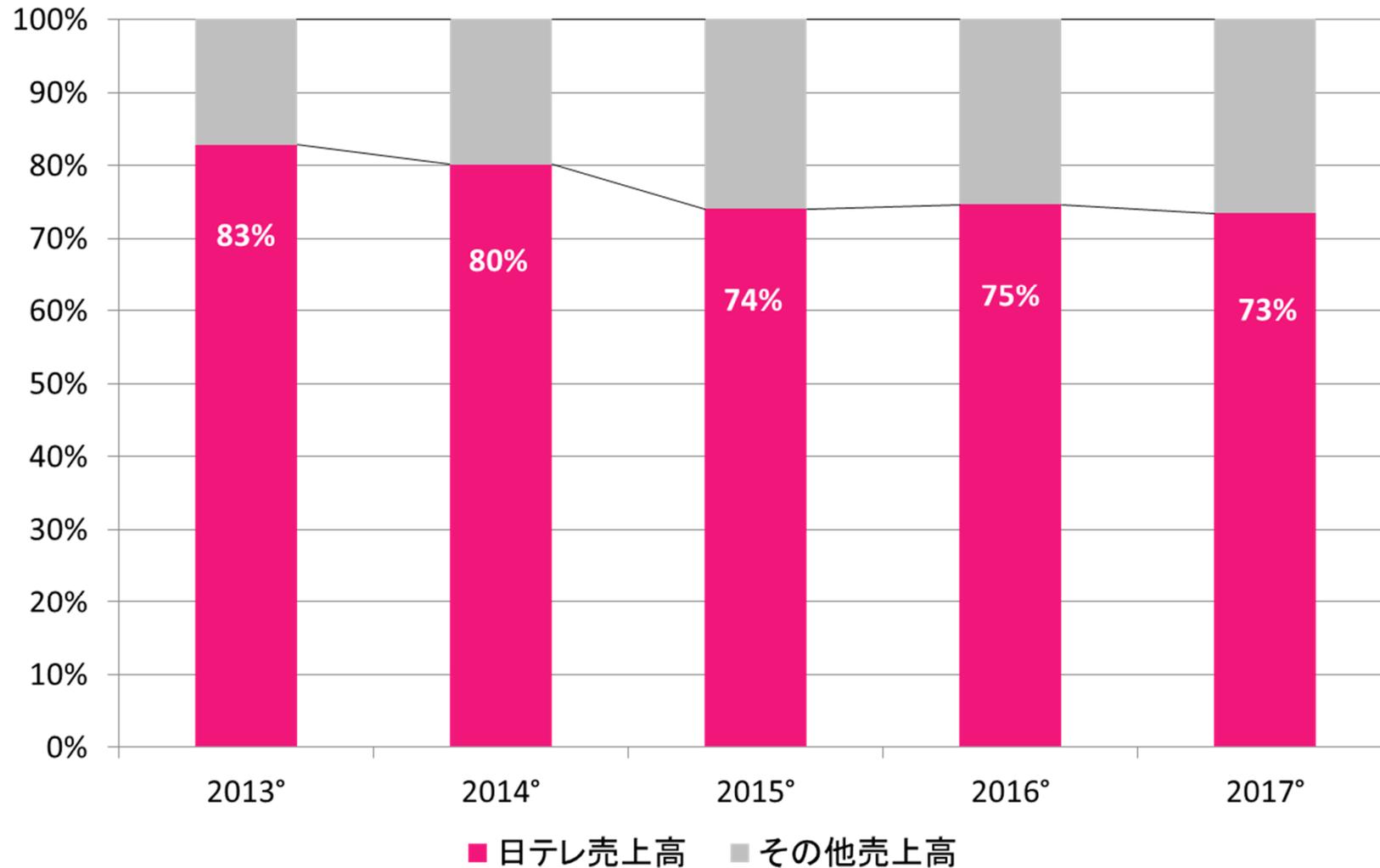


【日本テレビグループ連結】

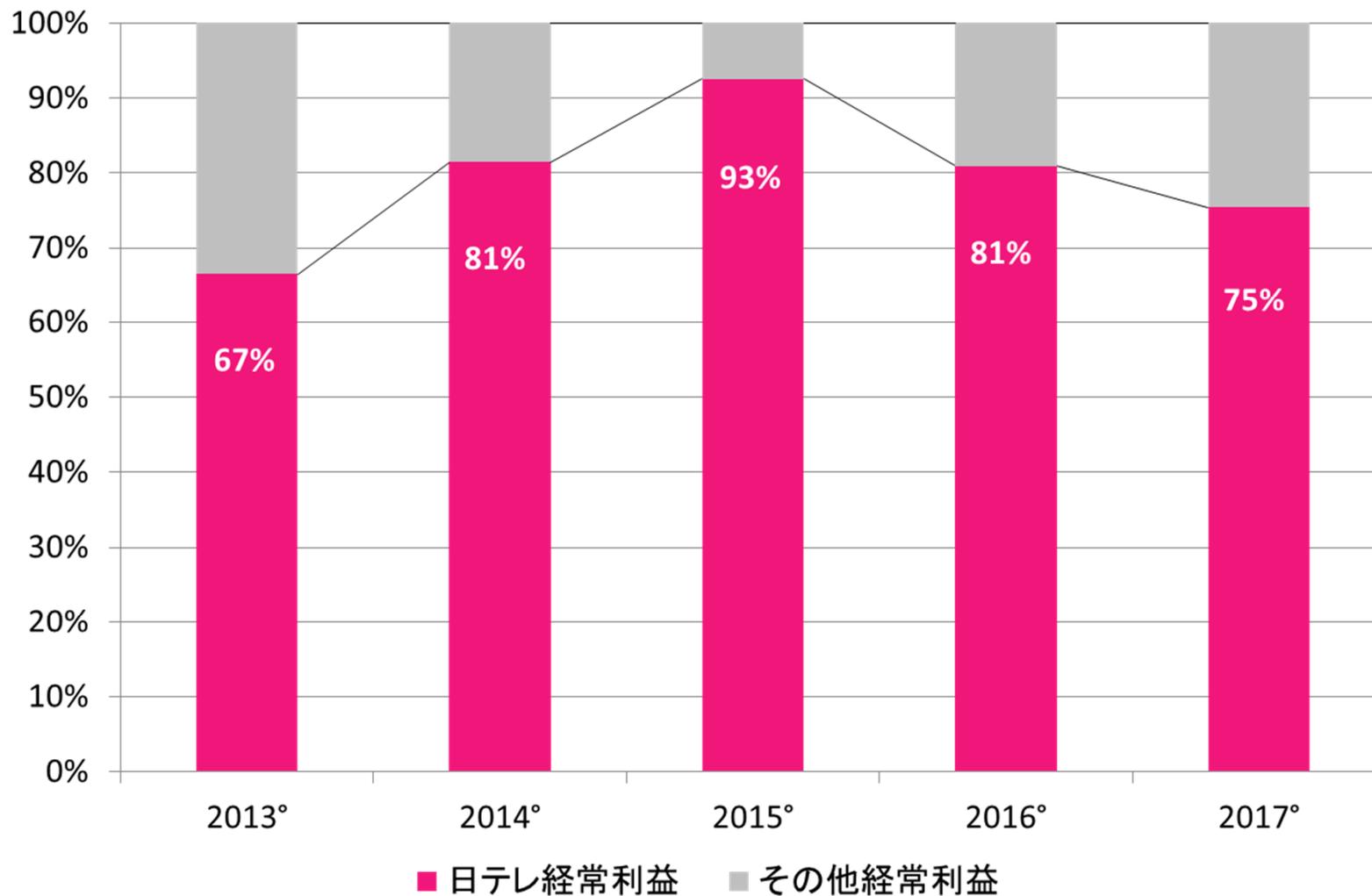
売上高 営業利益 経常利益推移



連結売上高：日テレ、グループ会社比率の推移



連結経常利益：日テレ、グループ会社比率の推移



2017年度の取り組み成果

視聴率の状況と編成方針

2017年度決算について

決算数字 5か年の推移

2018年度の見通し

連結業績予想

(単位：百万円)	2017年度実績	2018年度予想	増減 (%)
売上高	423,663	428,000	1.0
営業利益	50,964	48,000	△5.8
経常利益	61,239	55,000	△10.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	37,416	38,000	1.6

配当予想

(単位：円)	第2四半期末	期末	合計
2017年度(実績)	10	24	34
2018年度(予想)	10	24	34

2018年度地上波テレビ広告収入と制作費の見込み (前期比)

(単位：%)	通期予想
テレビ広告収入	0.1
(うちタイム)	△0.1
(うちスポット)	0.2
制作費	1.3

補足資料

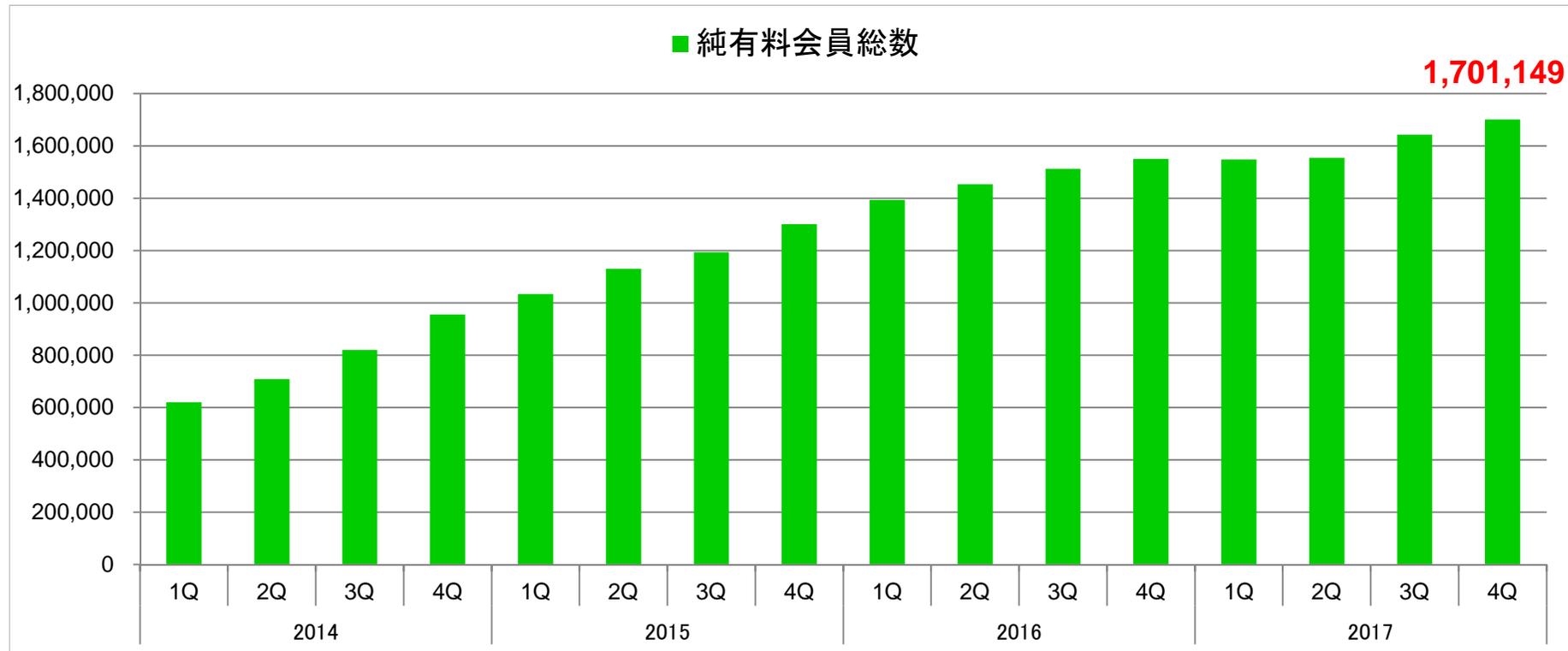
セグメント別 実績

2017年度 (単位:百万円)	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結 損益計算書 計上額
	メディア・ コンテンツ事業	生活・健康 関連事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高	380,330	37,881	9,924	428,136	6,311	434,447	△10,784	423,663
セグメント利益 又は損失	46,898	1,207	3,297	51,402	287	51,690	△725	50,964

報告セグメント	主な事業内容
メディア・コンテンツ事業	テレビ広告枠の販売、有料放送事業、動画配信事業、映像・音楽等のロイヤリティ収入、パッケージメディア等の販売、通信販売、映画事業、イベント・美術展事業、コンテンツ制作受託、テーマパークの企画・運営
生活・健康関連事業	総合スポーツクラブ事業
不動産賃貸事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント

※2016年度末に連結子会社化した(株)ACM(全国5か所で展開する「アンパンマンこどもミュージアム」の企画、運営及び経営指導等)は、メディア・コンテンツ事業に区分しています。

H J ホールディングス概況



- 2017年度末の会員数1,701,149人と170万台に到達 ※前Q末から+58,158人
⇒1月期日曜ドラマ連携Huluオリジナルストーリー「トドメの平行」の集客効果が最も大きい
- 昨年12月～2月に実施「プレミアムGYAO！」からの乗換えキャンペーン利用者約2.5万人
- 17年度末の会員数目標175万に対し▲5万人

ティップネス概況

2017年度の実績

□ 店舗数の動向

- 総合店: 59店舗(前年度末比増減-2店舗)
- FASTGYM24: 83店舗(同+19店舗)
- 受託施設: 14施設※(同+1施設) ※指定管理施設を含む

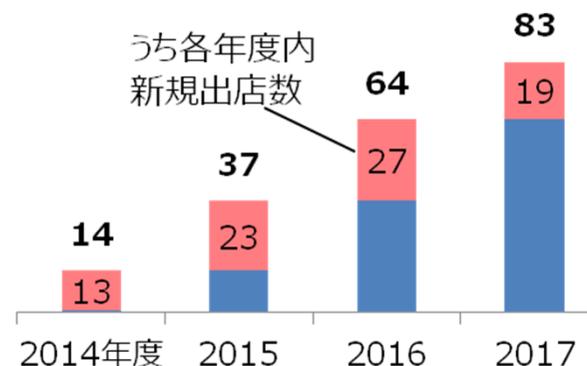
□ 会員数の動向

- 直営店総会員数298千人(前年度末比増加率+0.3%)

□ 顧客への付加価値を高める新たな取組み事例

- 総合店全店への「1WEEKコンディショニング」サービス導入
- 総合店とFASTGYM24の共通利用会員プラン導入
- 女性専用ホットスタジオ「マグマ・スパ・ステューディオ HOTLUX」新規オープン

FASTGYM24店舗数の推移



2018年度の取組み

□ 積極的な店舗開発

- FASTGYM24の積極的な出店の継続
- 日本橋エリアでの都心型直営店2店舗の新規出店
- 指定管理/受託施設の積極的な開拓

7月オープンする
ティップネス日本橋スタイル
(ロゴタイプ)

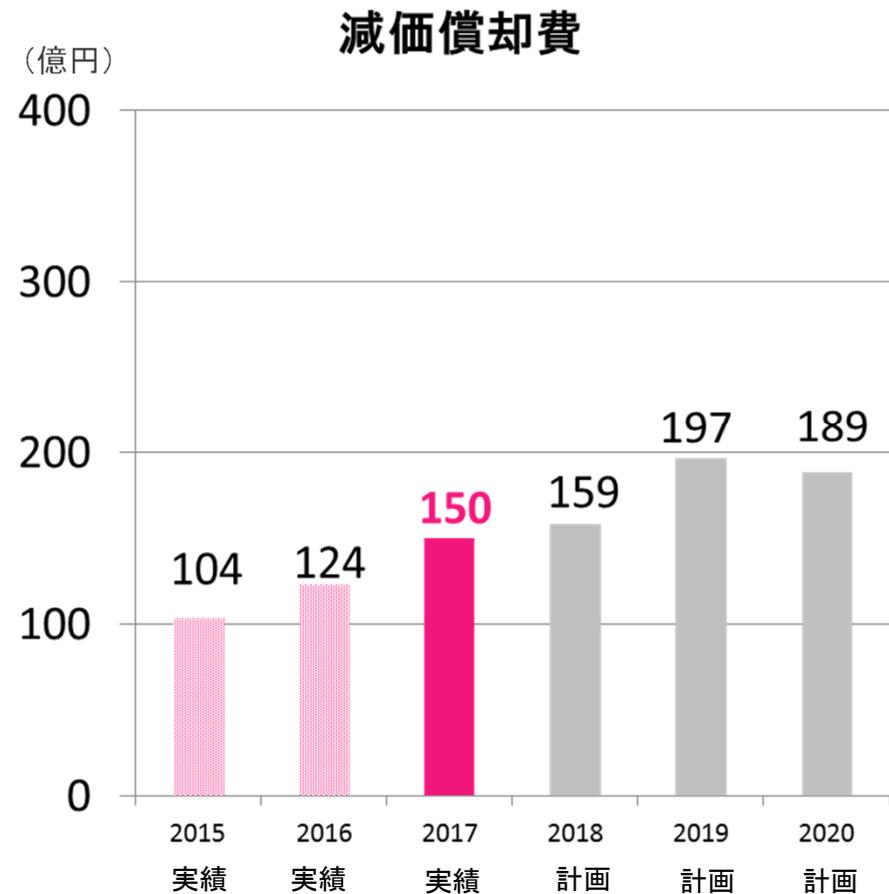
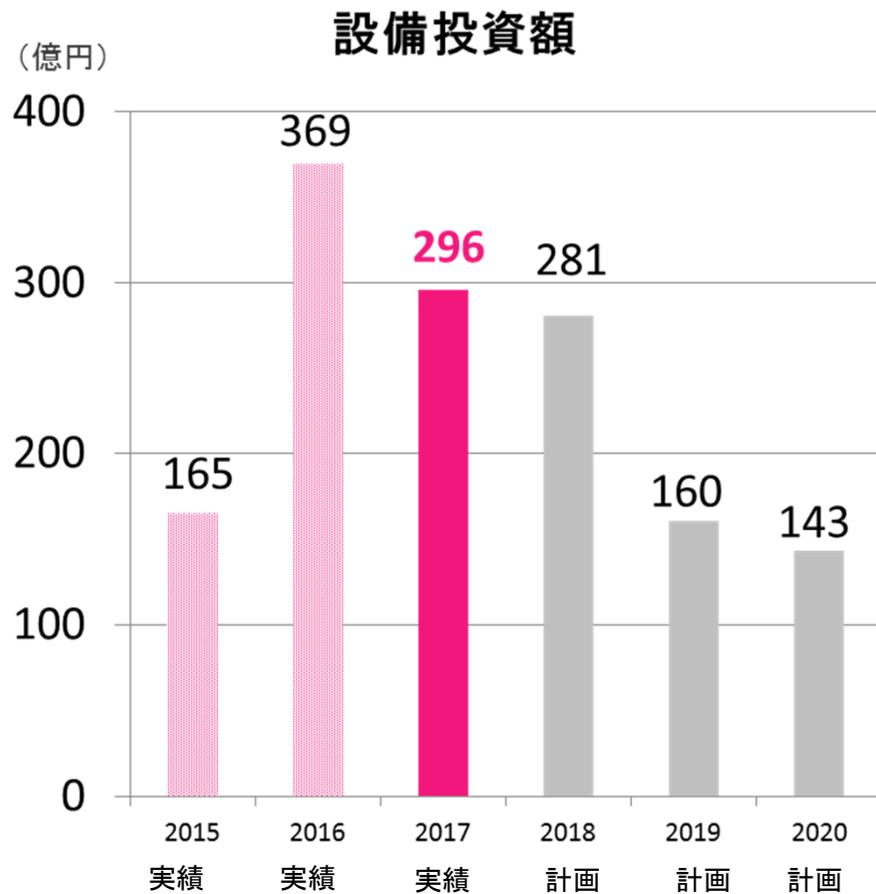


□ 顧客ニーズに対応した取組み

- 女性専用ホットスタジオ「マグマ・スパ・ステューディオ HOTLUX」施設展開の拡大
- 顧客目的ごとに「コンディショニング」をサポートする有料カウンセリング導入

設備投資・減価償却費（連結）

2017年度 (単位：億円)	設備投資額	減価償却費
	296	150



日本テレビ放送網 決算概況

(単位:百万円)

	2016年度	2017年度	増減 (%)
売上高	310,969	311,211	0.1
営業利益	44,282	42,147	△4.8
経常利益	47,066	46,196	△1.8
当期純利益	33,159	26,960	△18.7

日本テレビ放送網 営業収入

(単位:百万円)

	2016年度	2017年度	増減 (%)
放送収入	255,756	254,838	△0.4
番組販売収入	11,337	11,565	2.0
事業収入	41,792	42,779	2.4
不動産賃貸収入	2,083	2,027	△2.7
合計	310,969	311,211	0.1

日本テレビ放送網 放送収入

(単位:百万円)

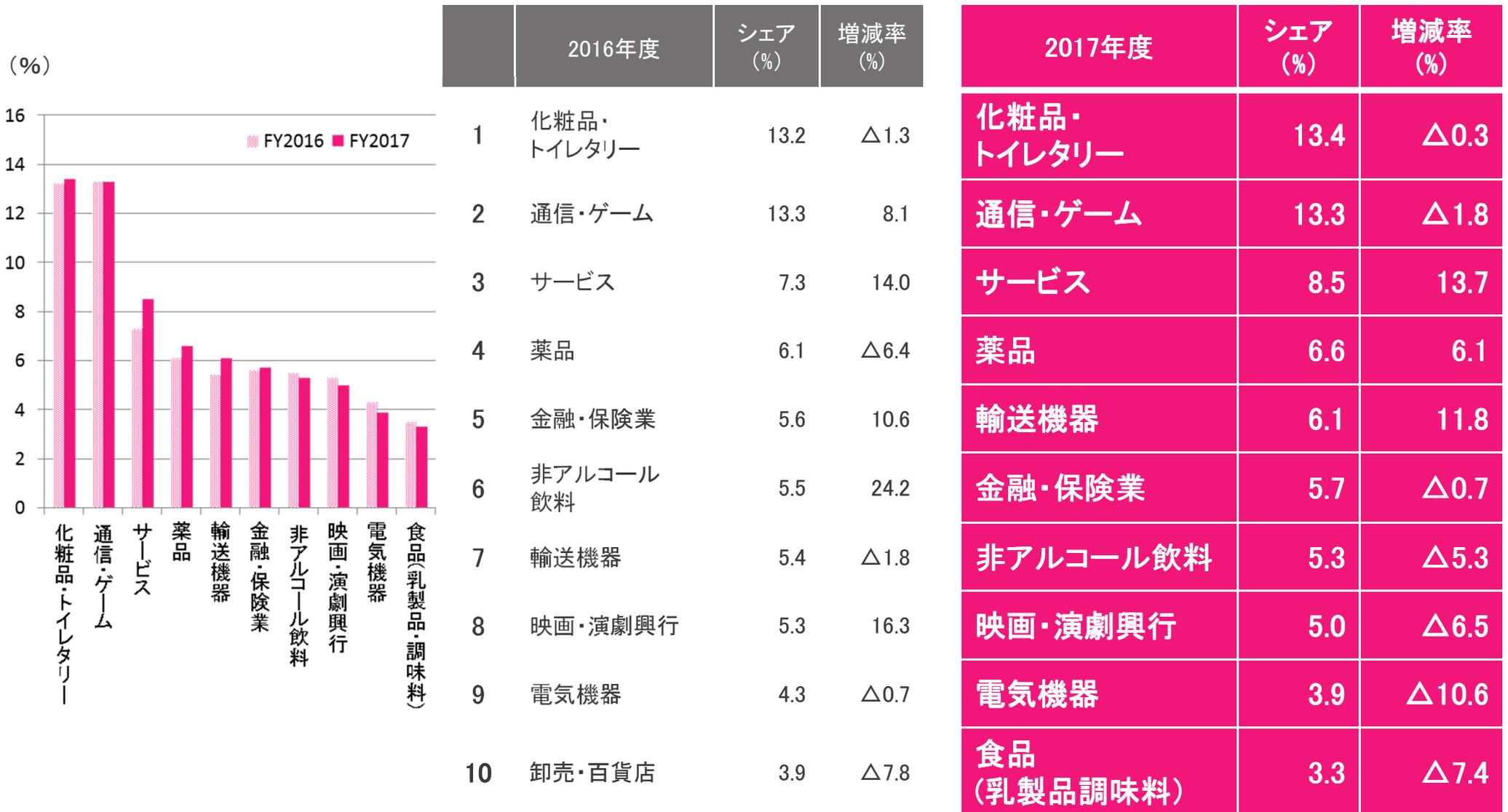
	2016年度	2017年度	増減 (%)
放送収入	255,756	254,838	△0.4
タイム	122,037	123,506	1.2
スポット	133,719	131,332	△1.8

日本テレビ放送網 放送収入 前年同月比

タイム	2016年度 (%)	2017年度 (%)
4月	4.5	6.5
5月	1.2	△0.2
6月	3.5	4.2
7月	11.1	△0.9
8月	10.9	△8.9
9月	0.6	7.1
10月	3.6	0.6
11月	0.0	△1.5
12月	2.7	△1.4
1月	1.1	3.6
2月	0.6	4.7
3月	△1.8	3.2

スポット	2016年度 (%)	2017年度 (%)
4月	8.6	1.7
5月	7.2	0.0
6月	7.9	△7.2
7月	0.0	△6.5
8月	△7.7	10.4
9月	1.1	0.2
10月	6.1	△5.1
11月	0.5	△1.8
12月	5.8	0.1
1月	0.8	2.2
2月	0.1	△9.5
3月	1.4	△2.7

スポット業種別売上シェア -地上波（日本テレビ放送網）-



注：増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

日本テレビ放送網 番組制作費

(単位:百万円)

2016年度	2017年度	増減 (%)
97,976	98,483	0.5

番組制作費

(百万円)



日本テレビ放送網 事業収支

(単位:百万円)		2016年度	2017年度
有料放送	収入	8,557	8,672
	費用	4,180	4,316
	収支	4,377	4,356
ライツ	収入	2,074	2,089
	費用	853	671
	収支	1,221	1,418
通販	収入	8,441	8,123
	費用	7,933	7,799
	収支	508	324
映画	収入	8,205	9,479
	費用	7,872	8,250
	収支	333	1,229

(単位:百万円)		2016年度	2017年度
イベント	収入	6,933	6,062
	費用	6,769	5,237
	収支	164	825
海外ビジネス	収入	1,708	2,072
	費用	826	1,017
	収支	882	1,055
その他	収入	5,874	6,282
	費用	5,722	6,006
	収支	151	276
合計	収入	41,792	42,779
	費用	34,155	33,296
	収支	7,636	9,483

日本テレビ放送網 営業費用

(単位:百万円)

	2016年度	2017年度	増減 (%)
番組制作費	97,976	98,483	0.5
支払電波料	32,445	32,903	1.4
代理店手数料	46,130	45,759	△0.8
人件費	22,447	22,368	△0.4
減価償却費	7,942	9,444	18.9
事業費	34,155	33,296	△2.5
諸経費	25,587	26,809	4.8
合計	266,686	269,063	0.9

その他グループ会社の状況①

単位:百万円	BS日本	CS日本	日テレ・ テクニカル・ リソース	日テレ アクセス	日テレ イベント	日本テレビ アート	日本テレビ 音楽	ハップ	ティップネス
売上高	15,572 (△0.6%)	4,912 (2.1%)	10,701 (△0.7%)	22,707 (△0.0%)	3,290 (9.2%)	7,756 (△4.4%)	11,992 (7.1%)	13,904 (△2.0%)	37,881 (0.7%)
営業利益	2,209 (34.3%)	768 (1.9%)	204 (△2.6%)	1,172 (△12.2%)	94 (169.9%)	223 (△30.2%)	1,687 (2.3%)	957 (6.7%)	2,959 (3.9%)
経常利益	2,266 (33.0%)	778 (2.4%)	226 (△3.6%)	1,190 (△11.6%)	96 (155.6%)	231 (△29.2%)	1,736 (2.7%)	1,123 (7.4%)	2,677 (5.0%)
当期純利益	1,560 (32.7%)	535 (2.1%)	144 (△10.5%)	781 (△13.2%)	60 (224.6%)	136 (△34.5%)	1,158 (4.7%)	928 (2.3%)	1,339 (△17.3%)

注: ()の数値は前期比増減をあらわしています
前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は「-」表記します。

その他グループ会社の状況②

単位:百万円	日本テレビ サービス	日本テレビ ワーク24	フォアキャスト・ コミュニケーションズ	日テレIT プロデュース	日テレ7	タツノプロ	HJホール ディングス	ACM
売上高	3,524 (23.0%)	4,312 (6.6%)	3,712 (19.9%)	2,799 (61.8%)	3,498 (△9.8%)	2,836 (62.2%)	18,016 (10.0%)	3,653 (2.7%)
営業利益	△51 (-)	140 (97.5%)	13 (△89.5%)	339 (221.3%)	74 (△40.1%)	65 (71.5%)	△2,201 (-)	222 (△34.2%)
経常利益	△42 (-)	168 (838.2%)	117 (△42.3%)	305 (224.6%)	76 (△39.2%)	67 (60.4%)	△2,184 (-)	243 (△32.1%)
当期純利益	△34 (-)	121 (-)	43 (△67.7%)	△4,710 (-)	49 (△16.9%)	△50 (-)	△2,258 (-)	158 (△28.9%)

注: ()の数値は前期比増減をあらわしています
前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は「-」表記します。

※日テレITプロデュースは日本テレビグループのシステム開発、管理保守を行う連結子会社
第2四半期決算において、当期に稼働を始めた日本テレビネットワーク統一の営業放送システムの減損損失計上

※ACMは2016年度末に連結子会社化

2018年度「上半期」視聴率

期間: 2018/04/02(月)~2018/05/06(日)

(単位: %)	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位との差	HUT
全日	7.7	7.5	6.2	2.8	5.5	+0.2	39.8
(6時-24時)	(△0.3)	(+0.2)	(+0.1)	(+0.1)	(△0.2)	(△0.5)	(+0.1)
プライム	11.4	10.2	9.6	6.1	8.0	+1.2	57.1
(19時-23時)	(△0.5)	(+0.4)	(△0.4)	(+0.1)	(+0.4)	(△0.7)	(△0.5)
ゴールデン	11.8	10.3	9.7	6.5	8.2	+1.5	59.8
(19時-22時)	(△0.4)	(+0.8)	(△0.4)	(+0.2)	(+0.5)	(△0.6)	(△0.1)
ノンプライム	6.7	6.8	5.2	1.8	4.9	▲ 0.1	34.9
(6時-19時 23時-24時)	(△0.2)	(+0.2)	(+0.2)	(±0.0)	(△0.2)	(△0.4)	(+0.4)
プラチナ	6.2	5.4	4.3	2.8	3.6	+0.8	27.6
(23時-25時)	(△0.4)	(△0.5)	(△0.1)	(+0.1)	(△0.3)	(+0.1)	(△1.4)

- 注: 1. 表示は左からデジタルチャンネル順
 2. 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ
 3. ()内は前年との差 比較期間: 2017/04/03(月)~2017/05/07(日)

2018年 映画事業の主なラインナップ ①

★＝日テレ共同幹事

公開	作品名	配給	備考
2018年 4/13 (金)	名探偵コナン ゼロの執行人	東宝	シリーズ第22弾。 2017年度邦画興収No.1となった前作(興収68.9億円)を超える初週週末興行成績を記録し、圧倒的第1位でスタート！ 4月22日現在興行収入32.3億円(前作対比:112.2%) 監督:立川謙 声の出演:高山みなみ 山崎和佳奈 ゲスト声優:上戸彩 博多大吉
2018年 4/27 (金)	★ ママレードボーイ	WB	累計1000万部超えの超カリスマコミックス【ママレード・ボーイ】の実写映画化。少女コミックスの全てが詰まったレジェンド原作。 日本テレビ＝ワーナーブラザーズ映画共同幹事作品 監督:廣木隆一 出演:桜井日奈子 吉沢亮
2018年 6/1 (金)	★ 50回目のファーストキス	SPE	ドリュー・バリモア & アダム・サンドラのハリウッドムービー「50回目のファーストキス」のリメイク作品。コメディ映画の天才・福田雄一が挑む「泣けるラブコメ」。 日本テレビ＝ソニーピクチャーズ共同幹事作品 監督:福田雄一 出演:山田孝之 長澤まさみ
2018年 6/8 (金)	羊と鋼の森	東宝	2016年度本屋大賞受賞作 累計発行部数100万部突破！！ 北海道で調律師を志す青年の成長物語を描く感動作！ 監督:橋本光二郎 出演:山崎賢人 鈴木亮平 上白石萌音 上白石萌歌

2018年 映画事業の主なラインナップ ②

☆＝日テレ主幹事

公開	作品名	配給	備考
2018年 6/15 (金)	劇場版 ドルメンX	katsu-do	2018年3月10日(土)～3月31日(土)24時55分～25時25分 全4話放送済のテレビドラマシリーズの映画化 アイドルを目指すイケメン宇宙人たちの笑いあり、涙ありの、スポ根系アイドル青春コメディ 監督:小室直子 出演:志尊淳 浅香航大 小越勇輝 玉城ティナ
2018年 6/30 (土)	それいけ!アンパンマン かがやけ!クルンといのちの星	東京テアトル	劇場版アンパンマン第30弾!第29弾は興収5億超えの歴代最高興収 監督:矢野博之 声の出演:戸田恵子 中尾 隆聖
2018年 7/20 (金)	☆ 未来のミライ	東宝	『時をかける少女』『サマーウォーズ』『おおかみこどもの雨と雪』『バケモノの子』に続く細田守監督が最新作。 甘えん坊の男の子“くんちゃん”と未来からやってきた妹“ミライちゃん”が織りなすちょっと変わった「きょうだい」の物語。 監督:細田守 声の出演:上白石萌歌 黒木華 星野源 麻生久美子 役所広司
2018年 8/3 (金)	僕のヒーローアカデミア THE MOVIE -二人の英雄-	東宝	これは、僕が最高のヒーローになるまでの物語だ。 少年ジャンプ原作のテレビアニメシリーズ初の映画化 監督:長崎健司 声の出演:山下大輝 三宅健太 ゲスト声優:志田未来 生瀬勝久

2018年 映画事業の主なラインナップ ③

☆ = 日テレ主幹事

公開	作品名	配給	備考
2018年 8/24 (金)	ポノック短編劇場 ちいさな英雄 -カニとタマゴと透明人間-	東宝	「メアリと魔女の花」のスタジオポノックの新プロジェクト。 短編3作品を劇場公開！ 監督:米林宏昌 百瀬義行 山下明彦
2018年 9/14 (金)	☆ 3D彼女 リアルガール	WB	「美女とヲタク」の大純愛スペクタクル！！映画『ヒロイン失格』チーム が再び贈る、笑って泣けるラブ・コメ誕生！！！！ 監督:英 勉 出演:中条あやみ 佐野勇斗
2018年 10/26 (金)	旅猫レポート	松竹	ヒットメーカー有川浩の主人公の悟と愛猫・ナナとの深い絆を描いた 号泣必須の感涙小説『旅猫レポート』。映像化困難と言われた奇跡の 物語がついに完全実写映画化！ 監督:三木康一郎 出演:福士蒼汰 高畑充希(声の出演)
2018年	かぞくいろ	松竹	鉄道を巡る親子の絆を描く『RAILWAYS』シリーズ最新作 監督:吉田康弘 出演:有村架純 桜庭ななみ 國村隼
2018年	★こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話	松竹	筋ジストロフィー症に冒された青年は只者ではなかった。わがまま放 題し放題、恋もすれば、悪さもする！昨年末大ヒットした実話感動作 「8年越しの花嫁」に続く実話コミカル感動作！ 日本テレビ = 松竹共同幹事作品 監督:前田哲 出演:大泉洋 高畑充希 三浦春馬

2018年 イベント事業の主なラインナップ ①

期間	イベント名	内容
2018年 4/18(水)～7/8(日)	「名探偵コナン 科学捜査展～真実への推理 (アブダクション)～」	もはや国民的コンテンツの「名探偵コナン」。本企画展は、コナンの世界観をベースに、科学捜査を使って事件を推理する、来場者体験型の展覧会です。捜査のガイドとなる「探偵手帳」を手に、「現場検証エリア」、「聞き込みエリア」、「ラボエリア」、3つのエリアを巡って事件の真相を解明する体験は、コナンファンはもちろん、親子でも楽しめる内容です。@日本科学未来館 /名古屋、福岡ほかを巡回予定
2018年 5/30(水)～9/3(月)	日本テレビ開局65年記念事業 「ルーヴル美術館展 肖像芸術 ——人は人をどう表現してきたか」	人の似姿を描出する肖像芸術は、古代以来の長い歴史をもつ芸術ジャンルです。本展は、肖像芸術の社会的役割や表現上の様々な特質を、ルーヴル美術館の全8部門の代表的作例を通じて浮き彫りにします。3000年以上も前のエジプトの棺用マスクから、ルイ14世やナポレオンなどの君主像、華麗な女性や愛らしい子どもたちの肖像まで、肖像芸術の魅力をご堪能ください。 ©国立新美術館(六本木) /大阪巡回予定
2018年 7/13(金)～8/20(月)	「ディズニー・オン・アイス ミッキーのスペシャルセレブレーション！」	今年のディズニー・オン・アイスは、ミッキーマウスのスクリーンデビュー90周年をお祝いした完全オリジナル作品です。世界に先駆けて日本での封切となり、まさにワールドプレミアです。お祝いにふさわしく、史上最多となる9人のプリンセスが登場。ラプンツェルとアリエル、2人のプリンセスが同時に宙を舞う豪華版です。 @武蔵野の森総合スポーツプラザ、横浜アリーナ
2018年 7/25(水)～9/17(月・祝)	「未来のミライ展～時を超える細田守の世界 『時をかける少女』『サマーウォーズ』『おおかみこどもの雨と雪』『バケモノの子』」	前回、東京・大阪・富山で延べ13万人を動員し、好評を博した「バケモノの子展」に続く2回目の大規模展覧会となる本展では、細田守監督が描く『未来のミライ』の世界を、体感型展示・テクノロジー・原画・背景画などを通じて立体的なイベントで再現。「映画とは違う、イベントならではの表現で、子どもと大人と一緒に楽しめる空間を作ってほしい」という、細田監督からの意見をイベントに生かし、まさに“時を超える細田守の世界”を表現します。さらに、『時をかける少女(2006)』、『サマーウォーズ(2009)』、『おおかみこどもの雨と雪(2012)』、『バケモノの子(2015)』の過去作の展示も盛りだくさん！新作との関係性を分析・紐解き、細田監督と多くのスタッフが作り上げた映画の魅力に迫ります。この夏、細田監督が描く「未来のミライ」の不思議な世界に“タイムリープ”して下さい。@東京ドームシティGallery AaMo

2018年 イベント事業の主なラインナップ ②

期間	イベント名	内容
2018年 7/4(水)～29(日)	日本テレビ開局65年記念事業 「ミュージカル エビータ」	恵まれない境遇に生まれながらもモデルや女優を経て、アルゼンチン大統領夫人にまで昇り詰めた“エビータ”の33年にわたる短くも劇的な生涯を描いたミュージカル。その1978年初演時のオリジナル演出版が、遂に初来日。アンドリュウ・ロイド＝ウェバー作曲、ティム・ライス作詞、ハロルド・プリンス演出という、ミュージカル界の巨匠トリオによって誕生した本作は、1980年のトニー賞で最優秀作品賞を含む7部門を受賞。1996年にはマドンナ主演で映画化され世界中で大ヒットを記録。日本公演限定で、国際的に活躍するミュージカル俳優のラミン・カリムルーの出演も決定し注目が集まります。@東急シアターオーブ(渋谷ヒカリエ)
2018年 7/21(土)～8/19(日)	「世界一受けたい授業THE LIVE 恐竜に会える夏！」	この夏、「世界一受けたい授業」が番組を飛び出し、スーパーライブショーに！全国5大アリーナ会場で20万人を動員する超大型企画です。芦田愛菜さん、八嶋智人さん、山崎樹範さんの3人がナビゲーターとなり、観客と一緒に古代の世界へタイムスリップして恐竜たちに出会う壮大なストーリー。登場する恐竜たちは実物大のリアル恐竜ライブショー「DINO-A-LIVE」をてがける「ON-ART」が製作した世界最高レベルのもの。動きもリアルで時には観客を襲ってしまうかもしれません。また全国の強豪校ダンスチームも参加するなど、観客を巻き込んだショーとなります。@横浜アリーナ、大阪城ホール、日本ガイシホール、さいたまスーパーアリーナ、マリンメッセ福岡
2018年 11/3(土・祝)～27(火)	日本テレビ開局65年舞台 「魔界転生」	奇想天外、快刀乱麻、魑魅魍魎、歴史上の剣豪が次々と甦り、現世での怨念を晴らさんと、時空を超え、悪鬼となり、徳川幕府と対決する…！これまで、映画、舞台をはじめ、数々のジャンルでリメイクされ、山田風太郎作品の最大のヒット作であり、代表作として知られている『魔界転生』。壮大なスケール、雄大な歴史ロマン、アクションとカルトとスペクタクルの世界が融合した、壮絶、壮大なエンターテインメント時代劇の最高傑作が、マキノノゾミ脚本、堤幸彦演出により、日本テレビ開局65年記念舞台として再び甦ります！人気実力ともに兼ね備えた俳優陣により、豪華絢爛、空前絶後、迫力満点、この秋、スペクタクル時代劇の決定版！出演：上川隆也 溝端淳平 高岡早紀 村井良大 松田 凌 玉城裕規 木村達成 猪塚健太 栗山 航 丸山敦史 山口馬木也 藤本隆宏 浅野ゆう子 松平健 @明治座 /福岡公演(10/6～28)、大阪公演(12/9～14)も上演されます。